学校番号	1009

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	第一言語	2	2	自主教材

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・昨年度に授業内でおこなった話し合いや朗読などをもとに、より幅広い内容や深い思考を必要とする課題について話し合いや調べ学習をおこなう。引き続き、語彙を増やし、さまざまな文章表現に触れるため、小説だけでなく、新聞記事なども利用する。母国の文化についての理解をより深めるための活動を通じて、自分の思いや考えを相手に伝える練習をおこなう。
・日本で生活する中で、母国では経験したことのないものや、母国ではなかったものについても、母語でどのように表現するか一緒に考え、学習する。
・卒業後の進路について考える機会が増えるので、授業内でも職業調べなどの活動をおこない、そのためにはどのような準備が必要か、みんなで一緒に考えていく。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
学習到達目標	短い質問に対して、質問者の意図を正確にくみとって正しく答える練習をする。 理解できない表現や単語がでてきた時に、再び尋ねることができるようになる。	多くの文章を読むことで、日常生活では使わない表現や語彙に触れ、その意味を理解することでできるだけ多くの語彙を習得する。 文法事項については、学齢に応じた文章を読むことができるようにする。	場面に応じた話し方、言葉の使い方について繰り返し練習をおこない、初対面の人に対しても自信をもってできるようにする。	時事問題や母国の文化、自らの経験だけでなく、意見や考えを発表するために、事実と意見をわけて相手にわかりやすく伝える姿勢を考える。	与えられたテーマについて書く前に、書きたいことを書き出し、構成を考え、作文を書くための練習を重ねる。学習した語彙や表現も使えるようにする。

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	語彙・文法・表現などの基礎知識が身についていて、読む・書く・聞く・話すときに自由に表現ができている。	現在の自分の生活環境や言語能力もふまえた上で、さまざまな事象について自分の思いや考えを母語で表現することができている。	学習内での調べ学習や発表のために考えたり、調べたり、情報を収集したり、資料を活用する方法を学ぶ。他者に学ぶ姿勢を大事にし、表現の豊かさなどをみんなで共有し、楽しむことができている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1学期	比較 仮定法	聞くこと	a: ターゲットの文法項目を聞き取り、内容を理解し、機能を理解することができる。 b: ターゲットの文法項目を聞き取り、理解することができる。 c: ターゲットの文法項目を聞き取ろうとしている。	行動観察 授業態度
		読むこと	a: ターゲットの文法項目を読み取り、内容を理解し、機能を理解することができる。 b: ターゲットの文法項目を読み取り、理解することができる。 c: ターゲットの文法項目を読み取ろうとしている。	行動観察 授業態度 授業内テスト （リーディング）
		話すこと （やり取り）	a: 相手が話す内容を聞き取り、それに対して自分の意見を事実と区別して返答することができる。 b: 相手が話す内容を聞き取り、それに対して自分の意見を述べることができる。 c:相手が話す内容を聞き取ろうとし、自分の意見を述べようとしている。	行動観察 授業態度
		書くこと	a: ターゲットの文法項目を用いて、自分の意見を交えた文章を書くことができる。 b: ターゲットの文法項目を用いて、キーワードを頼りに文章を書くことができる。 c: ターゲットの文法項目を用いて、キーワードを頼りに文章を書こうとしている。	行動観察 授業態度
	中間考査			
	倒置 句読点 位置表現	聞くこと	a: ターゲットの文法項目を聞き取り、内容を理解し、機能を理解することができる。 b: ターゲットの文法項目を聞き取り、理解することができる。 c: ターゲットの文法項目を聞き取ろうとしている。	行動観察 授業態度
		読むこと	a: ターゲットの文法項目を読み取り、内容を理解し、機能を理解することができる。 b: ターゲットの文法項目を読み取り、理解することができる。 c: ターゲットの文法項目を読み取ろうとしている。	行動観察 授業態度 授業内テスト （リーディング）
		話すこと （発表）	a: 相手が話す内容を聞き取り、それに対して自分の意見を交えて返答することができる。 b: 相手が話す内容を聞き取り、それに対して自分の意見を述べることができる。 c:相手が話す内容を聞き取ろうとし、自分の意見を述べようとしている。	行動観察 授業態度 完成度
		書くこと	a: ターゲットの文法項目を用いて、自分の意見を交えた文章を書くことができる。 b: ターゲットの文法項目を用いて、キーワードを頼りに文章を書くことができる。 c: ターゲットの文法項目を用いて、キーワードを頼りに文章を書こうとしている。	行動観察 授業態度
	期末考査			
2学期	文の種類 （発展） 接続詞	聞くこと	a: ターゲットの文法項目を聞き取り、内容を理解し、機能を理解することができる。 b: ターゲットの文法項目を聞き取り、理解することができる。 c: ターゲットの文法項目を聞き取ろうとしている。	行動観察 授業態度
		読むこと	a: ターゲットの文法項目を読み取り、内容を理解し、機能を理解することができる。 b: ターゲットの文法項目を読み取り、理解することができる。 c: ターゲットの文法項目を読み取ろうとしている。	行動観察 授業態度
		話すこと （やり取り）	a: 相手が話す内容を聞き取り、それに対してターゲットの文法項目を用いて返答することができる。 b: 相手が話す内容を聞き取り、それに対してターゲットの文法項目を用いて返答しようとしている。 c:相手が話す内容を聞き取ろうとしている。	行動観察 授業態度 完成度

		書くこと	a: ターゲットの文法項目を用いて、自分の意見を交えた文章を書くことができる。 b: ターゲットの文法項目を用いて、キーワードを頼りに文章を書くことができる。 c: ターゲットの文法項目を用いて、キーワードを頼りに文章を書こうとしている。	行動観察 授業態度 授業内テスト （ライティング）
	中間考査			
	動詞の活用 接辞	聞くこと	a: ターゲットの文法項目を聞き取り、内容を理解し、機能を理解することができる。 b: ターゲットの文法項目を聞き取り、理解することができる。 c: ターゲットの文法項目を聞き取ろうとしている。	行動観察 授業態度
		読むこと	a: ターゲットの文法項目を読み取り、内容を理解し、機能を理解することができる。 b: ターゲットの文法項目を読み取り、理解することができる。 c: ターゲットの文法項目を読み取ろうとしている。	行動観察 授業態度
		話すこと （発表）	a: 相手が話す内容を聞き取り、それに対してターゲットの文法項目を用いて返答することができる。 b: 相手が話す内容を聞き取り、それに対してターゲットの文法項目を用いて返答しようとしている。 c:相手が話す内容を聞き取ろうとし、自分の意見を述べようとしている。	行動観察 授業態度 完成度
		書くこと	a: ターゲットの文法項目を用いて、自分の意見を交えた文章を書くことができる。 b: ターゲットの文法項目を用いて、キーワードを頼りに文章を書くことができる。 c: ターゲットの文法項目を用いて、キーワードを頼りに文章を書こうとしている。	行動観察 授業態度
	期末考査			
	接辞 使役	聞くこと	a: ターゲットの文法項目を聞き取り、内容を理解し、機能を理解することができる。 b: ターゲットの文法項目を聞き取り、理解することができる。 c: ターゲットの文法項目を聞き取ろうとしている。	行動観察 授業態度
		読むこと	a: ターゲットの文法項目を読み取り、内容を理解し、機能を理解することができる。 b: ターゲットの文法項目を読み取り、理解することができる。 c: ターゲットの文法項目を読み取ろうとしている。	行動観察 授業態度 授業内テスト （リーディング）
		話すこと （やり取り）	a: 相手が話す内容を聞き取り、それに対してターゲットの文法項目を用いて返答することができる。 b: 相手が話す内容を聞き取り、それに対してターゲットの文法項目を用いて返答しようとしている。 c:相手が話す内容を聞き取ろうとしている。	行動観察 授業態度
		書くこと	a: ターゲットの文法項目を用いて、自分の意見を交えた文章を書くことができる。 b: ターゲットの文法項目を用いて、キーワードを頼りに文章を書くことができる。 c: ターゲットの文法項目を用いて、キーワードを頼りに文章を書こうとしている。	行動観察 授業態度 完成度
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度